

ベシト云、道二ハ主人出邀ニヤナド、心中ニ思ナガラ入ルニ、案外ニ酒宴ノ席ニテ、杯盤狼藉タリ、道二至ルト、坐客ノ中即一盃ヲ獻ゼン、迎數合ヲ容ベキ大盃ヲ傾テ、道二ニサス、少婦起テ滿酌ス、道二ハ下戸ナリト言テ辭ス、客強テ不止、道二固ク辭ス、客怒リテ人ノサス杯ヲ飲マザルハ不敬ナリト云テ、盃酒ヲ道二ノ頂ニ灌グ、道二大ニ噴リ、道ノ爲ニ人ヲ招キ、カ、ル舉動ハト云テ坐ヲ起ントス、時ニ一座ノ諸人同音ニ、ナラヌ堪忍スルガ堪忍ト、高聲ニ唱へ、足下ノ心學未熟ナリトテ、ドツト笑タリ、道二大ニ愧テ逃還レリト、

○

克己  
〔承應遺事〕謝上蔡の語に、克己須從性偏難、克處克將去とあるを稱し給ひ、常に御工夫をなさせ給ひけり、御生質○後光明雷をおそれ給ふに、これも性偏なる處より、かくはあるとて、雷はげしかりける時、御簾のもとに出させ給ひ、御靜座まし、けるに、御神色かはせられず、雷やみていらせ給ひけり、其後雷の御おそれなかりしとなん、

〔類聚國史六十六〕弘仁十四年七月甲戌、越後守從四位下伴宿禰彌嗣卒。○中略頗便步射、苦好鷹犬、爲人疾惡、不憚射人、晚而改操、暴慢不聞、

〔三代實錄清和〕貞觀二年十月廿九日乙巳、正三位行中納言橘朝臣岑繼薨、岑繼者、贈太政大臣正一位清友朝臣孫、而右大臣贈從一位氏公朝臣之長子也、氏公朝臣是仁明天皇之外舅、岑繼所生、是仁明天皇之乳母、故天皇龍潛之日、陪於藩邸、稍蒙寵幸、岑繼身長六尺餘、腰圍差大、爲性寬緩、少年愚鈍、不好文書、天皇見其無才、歎曰、岑繼也、是大臣之孫、帝之外家、若有才識、公卿之位庶幾可企、何其不讀書之甚哉、岑繼竊聞、慙恐於心、乃改節勵精、從師受學、書傳略通音旨、

〔文會雜記二上〕一春臺ハ元來性ノ急ナル人ナレドモ、學問ニテチリツメテ、從容トシテアルコトヲ習テ、久シキニタユルコト得モノナリ、ソレユヘ會業ナドノ日、外ヨリ來ル狀ナドヲ書コト、隨